

# きずな



2016年 3月 3日

NO 1063

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (Tel. 62-6200)

2月29日井原市議会2月定例会が開会しました。会期は3月24日までの25日間です。29日の開会日、瀧本市長が議案の提案説明を行いました。その中で、平成28年度における予算編成及び主要施策について話された部分を、今回と次号(1064号)でお知らせします。

## 平成28年度における予算編成及び主要施策について

本市の平成28年度の予算案につきましては、井原市第6次総合計画後期基本計画に掲げる各種施策を着実に推進してまいります。さらに今月策定した「元気いばら まち・ひと・しごと創生 総合戦略」に掲げる「魅力あふれる 元気なまち いばら」を実現させるため、財源確保が厳しい中であっても、将来を見据えた持続可能な財政運営を図りつつ、地域創生の芽出しから開花に向けた好循環を目指し、緊要と考えられる施策への「選択と集中」により積極的な予算編成を行ったところであります。

中でも、経済・雇用対策「イバラノミクス」事業を精査し、新規6事業を加えたほか、既存事業についても内容を充実させ、新たに経済・雇用・移住定住対策として、計20事業により地域経済の活性化と定住促進を推進してまいります。また子育てしやすい環境づくりのため、従来から実施している保育料の軽減をさらに拡充し、就学前の児童のうち2人目以降の保育園および幼稚園の保育料無償化を実施することとしております。

その結果、前年度当初比4億3,500万円、2.2%減となるものの、総額195億5,100万円となる大型予算を編成したところであります。

一方、特別会計は、国民健康保険事業など7会計で148億1,950万円を、水道、病院、工業用水道の企業会計では、42億8,400万3,000円を計上しており、あわせますと平成28年度の予算総額は、386億5,450万3,000円となっております。

それでは、施策の基本方針につきまして、井原市第6次総合計画の後期基本計画に基づき順次申し述べてみたいと思います。

## 心豊かでたくましいひとを育てるまちづくり

**学校教育** 児童生徒の学校生活が、楽しく落ち着いたものとなり、児童生徒同士が高め合う学級となるための取り組みを行います。

また、市内の小学校全学年を35人以下学級とする、いばらっ子イノベーション35推進事業を継続実施するとともに、学習支援員を増員します。あわせて、放課後学習サポート事業や地域土曜学習サポート事業などの補充学習の充実に加え、スポーツふれあい交流事業「夢の教室」、郷土愛を育む「ふるさと井原魅力発見事業」により、学力向上や心の教育を推進します。また、不登校問題については、適応指導教室「大山塾」を拠点として取り組んでまいります。

**学校施設関係** 老朽化に伴い、青野小学校管理棟を建設することとしております。また、井原中学校校舎建設事業につきましては、現在、基本設計を行っているところですが、その基本設計が出来次第、実施設計を行い、29年度から建設整備をしたいと考えております。なお、必要な経費につきましては、その都度、補正予算をお願いしたいと考えております。

また、子どもたちが学業に集中できる快適な学習環境を整備するため、本年度から30年度の4カ年の計画で、中学校、小学校、幼稚園の全ての教室、保育室へ空調機を設置しております。来年度においては、高屋小学校など8小学校において空調機を設置するとともに、29年度に設置予定の井原小学校など5小学校の設備設計を行うこととしております。

**他の学校施設** 引き続き営繕工事に取り組み、安全・安心な教育環境の整備充実に努めてまいります。あわせて、幼稚園教育の充実のために、4月から3歳児教育を稲倉幼稚園で新たに開始いたします。

さらには、教職員の業務負担の軽減と児童・生徒と向き合う時間を増やすため、校務支援システムを導入し、多岐にわたる校務の効率化を図ることとしております。

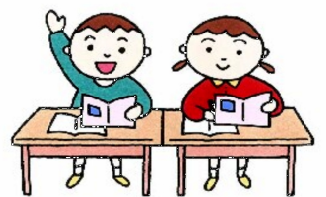
**社会教育関係** 現在、地域住民の協力により芳井、美星地区で行っている「放課後子ども教室」を県主、荏原地区において、新たに実施いたします。

また、中高生を中心とした「子ども若者育成支援事業」を実施いたします。さらに、施設整備として、芳井生涯学習センターの太陽光発電システム・蓄電池設置工事や星の郷ふれあいセンター等の営繕工事を行うほか、美星天文台におきましては、昨年度導入いたしました、宇宙の魅力を感じられる立体映像上映システム4D2Uの有効利用に努め、美しい星空の見える井原市を広く発信することとしております。

2面へつづく



提案説明する瀧本市長  
(井原放送より)





## 1面からつづく

**スポーツ活動の充実** 引き続き各種競技の選手に対する育成強化の支援を行うとともに、日本陸連より公認をいただいております、マラソン、ハーフマラソンコースの公認継続を行うなど、競技力の向上、健康づくり、仲間づくりを推進してまいります。また、スポーツ施設の営繕工事を順次行うことにより、市民の皆様がスポーツに取り組みやすい環境づくりに努めてまいります。



**地域文化の振興** 引き続き、市民の芸術、文化活動の支援を行うとともに、県指定の無形民俗文化財「三原の渡り拍子」をはじめ、市内に残された貴重な伝統芸能を映像化してDVDに収録するほか、ホームページでも公開し、次世代へ伝統芸能を継承するために活用してまいります。

**田中美術館** 秋の特別展「棟方志功—平櫛田中を「先醒(せんせい)」と呼んだ板画(はんが)家」のほか、企画展を開催し、文化の振興を図ることとしております。

## いつまでも健康ではつらつと生きるまちづくり

**健康づくりの推進** 私の政治スローガンであります健康寿命日本一のまちづくりを実現するため「笑って健康元気アップ事業」や「おせっかい保健師健康相談事業」、「健康カフェ」を引き続き実施してまいります。

さらに、子育て世代の食育推進を図るため、保育園、幼稚園児を対象とした笑顔の食育参観日を実施してまいります。また各種の健診事業や母子保健事業、予防接種事業などにつきましても、引き続き実施するほか、新たに、産後間もなく育児支援を必要とする母子を対象に、産後ママあんしんケア事業を実施し、安心して妊娠・出産することができる体制づくりを進めてまいります。

**子育て支援** 保育園の保育料につきましては、国が示す徴収基準と比較し、引き続き約30%の負担軽減措置を行うこととしております。さらに、国や県の新たな軽減措置に加え、市独自の施策として、就学前の児童のうち2人目以降の保育料を無償化することとし、子育て家庭への経済的支援を推進してまいります。

さらに、子育て世帯が保育施設や地域の子育て支援事業などを円滑に利用できるよう、情報提供や相談を行う「保育コンシェルジュ」を新たに配置し、利用者支援の充実を図ることとしております。

加えて、地域における保育の場を確保するため、少人数の単位で、0歳から2歳までの子どもを保育する「小規模保育事業所」を美星地区に設置することとしております。施設につきましては、既存の施設を活用することとし、「美星老人憩の家」の1部を改修することとしております。



**高齢者福祉** いきいきデイサービス事業や軽度生活援助サービス事業、寝具類乾燥消毒サービス事業等の実施により在宅福祉サービスの充実を図ります。いばらサンサン交流館においては三世代交流事業を引き続き実施することとしております。

**介護保険事業** 今年度から29年度を計画期間とする第6期井原市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、引き続き地域包括ケアシステムの構築と介護サービスの充実に努めてまいります。

**障害者福祉** 障害者の方が就労しやすくなるよう、市内に障害福祉サービス事業所を開設しようとする事業者に対し開設・整備する際の助成や、障害福祉サービス事業所が障害者の送迎に利用する車両の購入に対しての助成制度を設け、事業者の支援を行うこととしております。

また、一昨年4月に消費税率が引き上げられたことに伴い、低所得者および障害年金等の受給者に対する配慮としまして、臨時福祉給付金の支給を来年度も行うこととしております。

## 美しい自然を未来につなぐまちづくり

**環境対策** 地域全体で環境にやさしいまちづくりを推進するため、身近なごみ問題を中心に、エネルギーや自然環境など地球環境問題に理解を深めた「環境マイスター」を育成するための講座を今年度に引き続き開設し、総合的な環境学習の強化を進めてまいります。

**再生可能エネルギー** を活用した防災拠点の強化を目指し、市民会館、芳井生涯学習センター、美星支所へ太陽光発電設備と蓄電池の整備を進めることとしております。

**水質汚濁** 生活排水による河川等の水質汚濁の防止を図るため、公共下水道区域外において、「単独処理浄化槽」から「合併処理浄化槽」へ転換する場合、浄化槽設置整備事業補助金に「単独処理浄化槽」の撤去補助を新たに加え、促進してまいります。

次回の第1064号へつづく

この「きずな」は森本ふみお議員のブログ (<http://m.okajcp.com>) でも見ることもできます

生活に役立ち勇気と確信のわくしんぶん[赤旗]をお読みください(月額日刊紙3,497円日曜版823円)